

2019年度第2回(一社)日本生物物理学会理事会議事録

日時: 2019年9月24日(火)11:40-12:40

場所: 宮崎県・シーガイアコンベンションセンター オーチャード南

出席者: 理事総数 17 名 出席理事 14 名 (代表理事を含む)

代表理事(会長)	原田 慶恵	理事(副会長)	須藤 雄気
理事(副会長)	小松崎 民樹	理事	秋山 修志
理事	秋山 良	理事	大上 雅史
理事	岡田 真理子	理事	上久保 裕生
理事	北尾 朗	理事	小島 清嗣
理事	古寺 哲幸	理事	寺川 剛
理事	西坂 崇之	理事	細川 千絵

監事: 監事総数 2 名 出席監事 2 名

監事	笹井 理生	監事	豊島 陽子
----	-------	----	-------

オブザーバー:

邦文誌編集委員長	佐甲 靖志
欧文誌編集委員長	石渡 信一
欧文誌次期編集委員長	中村 春木
ウェブサイト編集委員長	宮田 真人
東北支部長	羽鳥 晋由
2019年度年会委員長	永井 健治
2020年度年会委員長	大澤 研二
2021年度年会委員長	高橋 聡

陪席者:

会長室	神瀬 麻里子
学会事務局	向井 牧子

議長: 代表理事(会長) 原田 慶恵

議事録作成者: 寺川 剛

報告事項:

1. 2019 年度年会報告
2. 2022 年度年会準備状況
3. 2021 年度年会準備状況
4. 出版委員会報告
5. 男女共同参画・若手支援委員会報告
6. 賞・助成金推薦委員会報告
7. 年会旗について
8. 地区報告

審議事項:

1. テレビ会議システムの変更について
2. 2022 年度年会開催候補地について
3. 分子生物学会との覚書について
4. 次期 BPPB 編集委員について

定足数の確認:

理事会の審議に先立ち、議長・原田慶恵氏より定足数の報告があった。

理事総数 17 名のうち、出席者 14 名により過半数を超えた。

報告事項:

1. 2019 年度年会報告

2019 年度年会(宮崎)の年会長である永井健治氏より、年会の開催状況について報告があった。

・参加者は約 1300 名。BP セミナー 23 枠、企業ブースの出展が 37 枠で、例年の約 2 倍の収入が見込まれている。

・年会旗、法被、うちわ(企業の広告入り)、アプリ(企業の広告入り)、顔出しパネルの作成、トラベルグラントの授与(55 名に支給)、懇親会は野外で行い、バイオリニストによる司会など、新しい試みを多数行った。

・年会 3 日目には、高校生によるポスター発表が行われ、閉会式でポスター発表賞を授与する。

2. 2020 年度年会準備状況

2020 年度年会(群馬)の年会長である大澤研二氏より、準備状況について説明があった。

・チラシを作成し、スーパーサイエンスハイスクールの全国大会で配布し、グローバルサイエンスキャンパスに送付した。

・協賛御案内書(ダイジェスト版)を作成し、宮崎年会の企業ブースに配布した。

・シンポジウムの募集を年末くらいから始める。

・大澤氏より、対企業の活動に関しては、年会の継続性を担保するための組織を作るべきではないかとの提案があった。理事会には年会担当理事がいるが、理事は 2 年に一度変わってしまうので、より企業との連絡等を継続していける組織が必要ではないかとの意見があった。原田慶恵氏より、今回の年会の資料をまとめて理事会で保管するのがよいのではないかとの意見があった。

3. 2021 年度年会準備状況

2021 年度年会(仙台)の年会長である高橋聡氏より、年会の開催状況について報告があった。

・開催する場所と日程について、東北大学川口キャンパスで 2021 年 9 月 2 日～4 日または、仙台国際センターで 2021 年 11 月 19 日から 21 日で開催する案がある。費用等考慮のうえ、近日中に決定の予定。

4. 出版委員会報告

会誌編集委員会報告(佐甲)

・会誌編集委員長の佐甲靖志氏より、理事ならびに関係者に対し、原稿依頼があった場合速やかに原稿を提出するよう、また、記事の提案・アンケートへの協力をするよう依頼があった。

・佐甲靖志氏より 2020 年 1 月 1 日より高橋聡氏が会誌編集委員長に就任する旨の報告があった。

BPPB 編集委員会報告

BPPB 編集委員長の石渡信一氏より報告があった。

- BPPB 誌の投稿数は現在のところ 46 編(郷信広傘寿特集号の 31 編を含む)である。
- BPPB 誌の引用数は 1,350 である。
- 今年度科研費を 380 万円(前期分 280 万円)受領する。
- 新 BPPB 編集委員長の中村春木氏より、BPPB 誌を著者、読者、レビューにとって好ましい雑誌にしたいという所信表明があった。

ウェブサイト編集委員会報告

ウェブサイト編集委員長の宮田真人氏より報告があった。

- 学会ウェブサイトを更新し、「生物物理」誌ページに論文への直接リンクとグラフィックアブストラクトを追加したこと、会員によるプレスリリースを公開できるようにしたことである。
- 「生物物理について」ウェブサイトを更新する。

5. 男女共同参画・若手支援委員会報告

男女共同参画・若手支援委員長の須藤雄気氏より報告があった。

- 女子中高生夏の学校に参加した。
- 男女共同参画学協会連絡会シンポジウムに参加する予定である。

6. 賞・助成金推薦委員会報告

賞・助成金推薦委員長の須藤雄気氏より報告があった。

学会推薦時の準備期間について、もう少し長く取れるように工夫できないかとの質問があった。理事全員に賞一覧を配布し積極的に推薦を募っていく。

7. 年会旗について

原田慶恵氏より年会旗について説明があった。

- 学会の公式の旗を作成した。
- 年会ごとに学会旗に新しいペナントリボンをつけて継承していく。

8. 地区報告

北海道支部長の旭川医大高井章氏の代理として小松崎民樹氏より北海道支部の会計(繰越金 82 万円)について、金城政孝氏による会計監査が行われ、適切であることが確認された旨の報告があった。

審議事項:

1. テレビ会議システムの変更について

原田慶恵氏よりテレビ会議システムについて説明があった。

原田慶恵氏より、V-CUBE から ZOOM に変更したい旨の提案があり、特に異論は出ず可決された。

2. 2022 年度年会開催候補地について

原田慶恵氏より、すでに決定している年会開催予定地について説明があった。

原田慶恵氏より、まだ決定していない 2022 年度の年会開催予定地について説明があった。

金城政孝氏を大会長に立て 2022 年度年会を開催する旨に特に異論はなく可決された。

3. 分子生物学会との覚書について

原田慶恵氏より、分子生物学会との覚書について、事前にメールで意見を募り、特に反対意見がなかった旨の説明があった。

原田慶恵氏より、2023 年度の IUPAB における分子生物学会による協力を打診し了承を受けている旨が説明された。

4. 次期 BPPB 編集委員について

小松崎民樹氏より、BPPB 誌の編集委員の改選について説明があった。

小松崎民樹氏より、出版委員会での投票の結果を受け、BPPB 編集委員の候補者として水谷泰久氏、神取秀樹氏、北尾彰朗氏、新井宗仁氏、太田元規氏、片岡幹雄氏、佐甲靖志氏、広瀬恵子氏に就任を打診したいとの提案があった。特に異論はなく可決された。

連絡事項:

1. 次回理事会日程について(原田)

2019 年度第 3 回理事会

日時:2019 年 12 月 14 日(土)12:30-17:00

場所:テレビ会議

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 12:40 に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

2019年9月24日

一般社団法人 日本生物物理学会 2019年度第2回理事会

代表理事	原 田 慶 恵
監事	笹 井 理 生
監事	豊 島 陽 子